

# 消費税増税は別府の経済に大打撃！

6月議会・・・日本共産党市議団が「反対の意見書」を提出

## 【旅館・ホテルのアンケート】

宿泊客数	増えた	横ばい	減った
(H21)	24%	20%	43%
(H22)	30%	18%	51%
(H23)	47%	14%	40%
売上高			
(H21)	16%	21%	51%
(H22)	19%	20%	61%
(H23)	38%	19%	42%
宿泊単価			
(H21)	14%	26%	57%
(H22)	9%	27%	65%
(H23)	25%	34%	40%

《資料提供は、別府市旅館ホテル組合連合会》

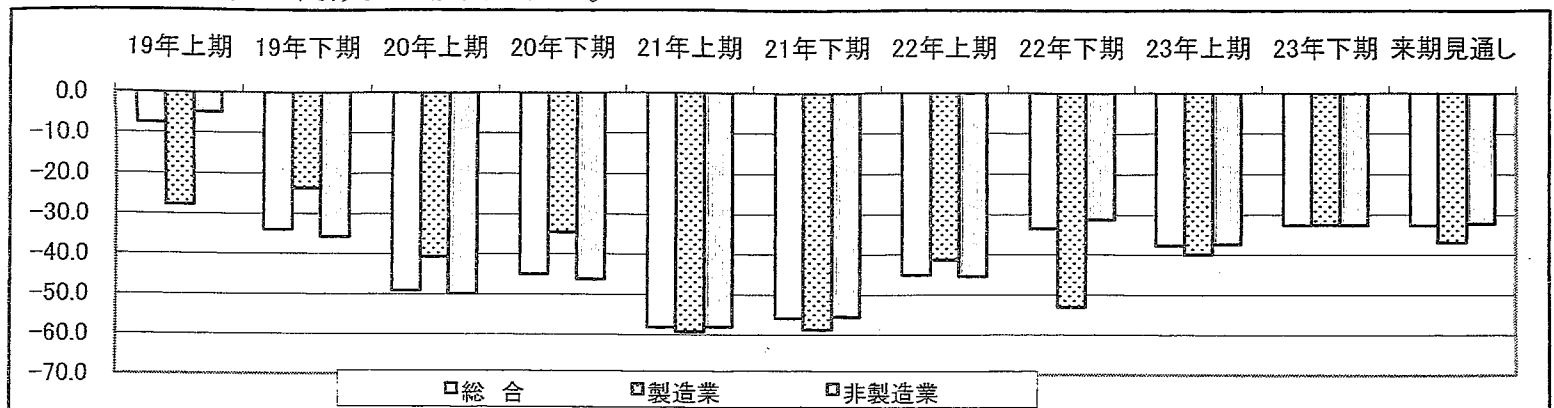
6月12日から27日までの会期で6月議会が始まりました。国会は終盤を迎え、消費税増税をめぐる民主、自民、公明の「談合」が行われており、予断を許さない状況が続いています。

別府市の経済状況は、業者アンケートのよいうに、今でも苦しいのに、このうえ消費税が10%に増税されれば、多くの業者や市民の営業や生活は、いっそう苦しくなります。

こうしたなか、日本共産党議員団は市議会に、「別府市経済に大打撃を与える消費税増税に反対する意見書(案)」を提出しました。採決は、議会最終日の27日に行われます。ご注意ください。

## 【企業景況調査】(別府市商工会議所の調査による「売上高」DI値)

DI値＝「売上高が増加」との回答割合から「減少」との回答割合を差し引いた値  
棒グラフは、左から「総合」「製造業」「非製造業」(回答数はH23年下半期で517社)  
全体としてはまだ売上高減少の傾向が強い。



# げんきニュース

市議会議員 平野文活 猿渡(えんど)久子

2012年6月17日

NO, 513